

埼玉県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

未来を築く税金

深谷市立豊里中学校 三年 島崎 美奈実

「もしも税がなくなったら...。」そう思ったことはありませんか？消費税を払わなくてよくなったら商品が安くなります。そんな一見嬉しい条件にひかれて、税がなくなってしまうことを望む人もいるかもしれません。しかし、税がなくなる、ということはとんでもないことなのです。

まず、税金は何に使われているのか。それを知らない人もいます。私も、総合や学活の授業で税金のことを勉強するまでは、税金について興味もなかったし、そもそも税金とは何なのか、正確な知識があったとは言えませんでした。しかし、税金について学ぶようになってから、税金が何に使われているのか、どれほど重要なものか、だんだんわかってきたのでした。税金は私たち学生の教育費にもたくさん使われています。税金があるおかげといってもいいくらいです。そのため、国から教科書が無料で配られるのです。もし、私たち国民が税金を払わなくなってしまうと、「義務教育」がなくなってしまいます。すると、学校に行けなくなってしまう人が増えてしまうのです。あげく、学費をためるために、アルバイトなどをする子供がでてきたりします。また、税金がなくなってしまうと、今まで税金でまかっていた公共のものが整備されなくなったりしてしまいます。私たちの使っている道路が平らで、きれいなのは税金のおかげです。美しい県や町を陰で支えているのは、私たちの税金なのです。

もし、近い将来に税金がなくなってしまうたら...。たしかに、商品が安くなったり、表向きでは良いこともあるかもしれませんが、道路がでこぼこだったり、学校に行けなくなってしまうたり...あげくに救急車や消防車を呼ぶときにお金がかかったりしてしまうのです。そんな時必ず、「昔は良かった...。」と思うでしょう。

私たちが納税を嫌がり、税金がなくなればいいと思うのは、税金がなくなったらどんな世界になるかを知らないからです。税金がなくなる、ということは私たちの未来がなくなる、と言ってもいいと思います。そのくらい、税金は重要で、大切な国民の義務の一つなのです。

税金というのは、私たちのわからないところ、表向きではわからないところで私たちを支えています。税金を払うことで、私たち自身で私たちの未来を築きあげているのです。自分たちの未来を築くために税金を払っている、そう思ったら税金を納めることに誇りを持っていいかと思います。

私たちの輝く明日、未来のためには、税金が絶対的に必要なのです。